

平成30年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業
在宅医療・介護連携に係る事例検討意見交換会<共通研修Ⅱ>要項

一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

1. 研修名称： 在宅医療・介護連携に係る事例検討意見交換会<共通研修Ⅱ>

2. 目的：

本意見交換会<共通研修Ⅰ・Ⅱ>は、地域ケア会議（個別ケース検討）における在宅医療・介護連携に係る支援困難事例に関して、専門職の相談・助言の充実、関係職種との連携促進、地域課題の発見に繋がる事例検討研修会の位置づけや展開について、現状の共有や意見交換を行う。

地域で協働する専門職として、質の高い実践力を担保し、中堅者や管理者の役割を担うために、基盤となるソーシャルワークの価値・知識・理論・方法・技術等を共有し、市町村・地域包括支援センター・専門職団体・関係機関等の研修企画に資することを目的とする。

3. 対象： 各専門職団体からの推薦者、医師会コーディネーター、市町村職員等

4. 日時： 第3回 平成30年12月08日（土） 14：30～17：30

5. 場所： P's Square 5階 C会議室
〒901-2101 沖縄県浦添市西原2丁目4番1号
電話： 098-871-3801

6. 内容： 講義・意見交換「在宅医療・介護連携に係る事例検討の意義と概要について」

～個別課題の解決・専門職ネットワークの構築・地域課題の発見を目的に、多職種が協働し事例検討を行うことにより、支援困難事例等に関する相談・助言の充実、専門職の資質向上と支援・連携の実践力を高め、地域包括ケアシステムの構築を推進する～

7. 方法： 集合研修前、集合研修実施、集合研修後の構成とし、地域や各団体でPDCAサイクルを回せるよう体系的に実施する。

事前学習・課題の実施により、各団体等の現状や課題等を予め把握し、効率的な研修の実施と、研修後の目標設定ができるようにする。

8. 講師： 富樫 八郎 氏 （沖縄大学 人文学部福祉文化学科 客員教授）

第3回 平成30年12月08日（土） 14：30～17：30

講 義： ダイレクトソーシャルワーク実践におけるアセスメント

テーマ： ①「援助職者としての基本的視点～専門職としての役割認識、守るべき価値・倫理について～」

②「事例検討における統合的アセスメントの視点、広範な問題の理解～人々が社会資源を活用できるよう支援することについて～」

意見交換： ①信頼される関係を形成する力と自己覚知、相談援助面接能力について

②利用者の支援に必要な制度や支援がわかり、調達できる力、交渉力について

③その他

9. 謝金等： 当協会規定により宿泊費・交通費を支給

10. 参加予定団体：①沖縄県医師会・各地区医師会：コーディネーター
②沖縄県歯科医師会
③沖縄県薬剤師会
④沖縄県看護協会
⑤沖縄県栄養士会
⑥沖縄県理学療法士会
⑦沖縄県作業療法士会
⑧沖縄県言語聴覚士会
⑨沖縄県歯科衛生士会
⑩沖縄県介護支援専門員協会：地域包括支援センター
⑪沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
⑫沖縄県介護福祉士会
⑬沖縄県社会福祉士会
⑭沖縄県精神保健福祉士会
⑮沖縄県認知症疾患医療センター
⑯沖縄県難病相談支援センター
⑰沖縄県障害者自立支援各圏域アドバイザー
⑱市町村職員・広域連合等

11. 今後の予定等：

※モデル実践事例検討会（久米島町・公立久米島病院：ケアチーム・サービス担当者等）
日時・場所・講師等調整中

※専門職研修：テーマ 退院における実践の自己評価

日時：2019年03月02日（土）・03日（日）

場所：（予定）沖縄県総合福祉センター

対象：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士、退院調整看護師、老人保健施設相談員等

※多職種研修Ⅱ：テーマ 地域住民への普及啓発～ACPについて～

日時：2019年03月09日（土）

場所：（予定）沖縄県総合福祉センター

対象：市町村・地域包括支援センター・専門職・多職種

講演①案「認知症高齢者の“家に帰りたい”を支える取り組み
～自己実現・社会参画を目指したACP～」

講師：猿渡進平氏（医療法人静光園白川病院 医療連携室室長／医療ソーシャルワーカー）

講演②案「地域の老人クラブと医療者で考えるエンド・オブ・ライフケア
～「私の意思表示帳」の共同制作と普及啓発活動～」

講師：内田 信之氏（NPO 法人あがつま医療アカデミー理事長、原町赤十字病院副院長）

問い合わせ先：

那覇市立病院 総合相談センター 樋口美智子

FAX：098-886-5502

TEL：098-884-5111（内線280・127）

E-mail：soudan@nch.naha.okinawa.jp